

文部科学省特別支援教育ネットワーク推進委員会 委員
厚生労働省社会保障審議会障害者部会 委員
星槎大学 特任教授
認定NPO法人エッジ 会長

藤堂 栄子



個性なの？障害なの？ ～早く知っておきたい発達障害～

一般向け／カラー約18分



- ASD**
自閉症、アスペルガー症候群
自閉スペクトラム症
- LD**
学習障害
限局性学習症
- ADHD**
注意欠陥・多動性障害
注意欠陥・多動症



発達障害の対処法 ～当事者からのメッセージ～

一般・指導者・保護者向け／カラー約23分



企画意図

児童・生徒のうち15人に1人はいると言われる発達障害。平成28年に改正された発達障害者支援法では、発達障害者が生活しやすい環境を整備することが社会の責任として求められています。しかし、発達障害の人が社会で生きていくには、いくつかのハードルがあります。

〈一般向け作品〉では、現在「ASD（自閉スペクトラム症）」「LD（学習障害）」「ADHD（注意欠陥・多動性障害）」の3つに分類されている基本的な発達障害の特徴・症状を知ってもらうと共に、その上で、そうした状態を表すのには、それぞれ理由があることを説明します。子どもたちが発信する様々な信号をしっかり受け止め、まず理解することが、発達障害の子どもたちを困難や苦しみから救い出す大きな力になることを伝えます。また、心配な症状に気が付いた時の対処法、相談窓口を伝えます。発達障害の子どもにも苦手な部分・得意な部分があることを知り、親や周りの人たちが良く理解し支えることで、子どもたちが生き生きとした素晴らしい人生を送ることが出来ることを訴えます。

〈一般・指導者・保護者向け作品〉では、保護者や関係者の心配を和らげる方策を探って行きます。相談できるそれぞれの場所で、生活やコミュニケーションについて学べたり、情報が得られることを伝えます。そして、当事者の方たちが発達障害をどう対処し、自分らしく生きる方法を見つけ出して行ったのか、3人の方々のインタビューから聞き出します。発達障害を抱えていても、様々な努力によって、自分らしい充実した生活を送ることが出来ることを示唆していくものです。

一般向け／約18分

個性なの？障害なの？ ～早く知っておきたい発達障害～

■はじめに

人には誰でも得意・不得意があるが、発達障害のある人は、得意なことと不得意なことの差が非常に大きかったり、他の人と比べて物事の感じ方や考え方が大きく違っていたりする。そのことを踏まえ、発達障害の種類と主な特徴を見ていく。

■ASD(自閉スペクトラム症)

ASD(自閉スペクトラム症)とは、自閉症やアスペルガー症候群などの総称である。自閉症、アスペルガー症候群の主な特徴を説明する。

■LD(学習障害)

LD(学習障害)の主な特徴を説明する。

■ADHD(注意欠陥・多動性障害)

ADHD(注意欠陥・多動性障害)の主な特徴を説明する。

■発達障害の見極め・心配な症状に気付いたときには？

子どもは一人ひとり違った成長の仕方をするため、まずは子どもをよく観察することが大切だ。そして、心配な症状に気が付いたら、しばらくの間よく観察して記録をし、教育機関や各地域の相談窓口に行って相談をしよう。

■まとめ

専門機関で発達障害だと診断されても、心配することはない。発達障害の子どもは困難な部分、苦手な部分がある一方、優れた部分、得意な部分も持っている。親や周りの人たちがよく理解して適切な支援、配慮を行えば、その子にとって生き生きとした素晴らしい人生を送ることも出来るからだ。

■ライブラリー価格 本体¥65,000+税

一般・指導者・保護者向け／約23分

発達障害の対処法 ～当事者からのメッセージ～

■発達障害の相談窓口

子どもの発達の遅れが心配になったら、各地域に内容に沿った相談窓口が用意されている。どこにどの程度困難さがあるかわかれば、必要に応じて医療機関を紹介してもらい、診断を受けることも可能だ。

■学校の支援、政策について

診断を受けて発達障害とわかっていても、心配することはない。普通学級に通いながら、適切な対応をしてもらったり、支援員の配置も可能だ。また、困難さや希望によって、特別支援学級や特別支援学校で学ぶこともできる。

現在わが国で発達障害者支援の政策が様々な形で行われている。平成17年から施行され、平成28年に改正された発達障害者支援法の大きなポイントは「発達障害者への支援は社会的障壁を除去するために行う」ということ。つまり、発達障害者が生活しやすい環境を整備することが社会の責任として求められるようになったのである。

になったのである。

■発達障害者の方へ、その困難さを取材

実際に発達障害の方たちがどんなことに生き辛さを感じ、それらをどのように対処してきたのか、3名の方に取材をし、聞き出ししていく。

■まとめ

発達障害と診断された方、発達障害かもしれないと不安に思っている方、その家族や周辺の方たちは、どうか過度に心配せず、発達障害の正しい知識を理解して日々過ごすようにしてもらいたい。

人は誰でも素晴らしい個性を持っている。苦手な部分、不得手な部分に目を向けるのではなく、その人の個性が輝く環境や接し方を配慮していけば、誰もが楽しく穏やかに自分らしく生きていけるのだ。

■ライブラリー価格 本体¥65,000+税

監修 文部科学省特別支援教育ネットワーク推進委員会 委員
厚生労働省社会保障審議会障害者部会 委員
星槎大学 特任教授／認定NPO法人エッジ 会長
藤堂 栄子

協力 どんぐり発達クリニック 制作協力 イメージ・テン

企画・制作統括 高木 裕己 演出・撮影 谷光 章
ナレーター 一色 令子 イラスト 正者 章子

制作・著作／株式会社 映学社

■DVD【カラー】

■2019年・映学社作品

●お問い合わせ、お買い上げは……

 株式会社 映学社
EIGAKUSYA CO.,LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
TEL:03-3359-9729(代表) FAX:03-3359-4024
<http://www.eigakusya.co.jp/>